

事務事業名	各種予防接種事業		事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

政策番号	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度
		基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業	
		基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業	
		実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0000	複数の柱にまたがる事業	

低

予算事業名	各種予防接種事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	02	事業	01
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
（簡潔にわかりやすく）  
感染予防対策の充実。災害時等の感染拡大防止。対象年齢内の予防接種の実施、接種勧奨。予防接種法による定期予防接種（A類）：ヒブ、小児の肺炎球菌感染症、B型肝炎、四種混合、BCG、麻しん風しん（混合）、水痘、日本脳炎、二種混合（破傷風、ジフテリア）不活化ポリオ、ヒトパピローマウイルス感染症。予防接種法による定期予防接種（B類）：インフルエンザ（65歳以上）、定期高齢者肺炎球菌。行政措置接種：高齢者肺炎球菌助成

現状と背景  
（どうして）  
感染症の特徴、感染しやすい時期等に基づいた予防接種です。

目的  
対象者（誰のために）  
受益者 予防接種法等に定められた各種予防接種対象者  
対象（直接働きかける）  
同上  
意（どんな状態にしたいか）  
ワクチン接種によって感染症に対する免疫をつけ、発病を防ぐと共に社会への感染症の蔓延を防止する。

手段・方法  
（どうやって）  
感染症の特徴・感染しやすい時期に各種予防接種を行う。周知方法は、広報ちの・ホームページ・個別通知・赤ちゃん訪問や乳幼児健診などによる。  
接種方法は、集団接種・個別接種。

A N N （	評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	各種予防接種の増（集団接種分）	集団接種延人数（二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎1期）	人	予防接種者延べ数	4,500
		2	各種予防接種の増（個別接種分）	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、B型肝炎）	人	予防接種者延べ数	8,000
		3	各種予防接種の増（B類接種分）	B類予防接種延人数（インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌）	人	予防接種者延べ数	9,500
変更履歴							

A N N （	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	感染予防対策の充実	0歳～18歳まで予防接種率	%	（集団＋個別延べ人数）÷12,500（目標値）	100
		2	感染予防対策の充実	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	予防接種者数÷接種対象者数	60
		変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	120,153,810	127,502,068	158,758,000
財源内訳	国庫支出金	円		4,507,000	6,854,000		
	県支出金	円			60,000		
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	120,153,810	122,995,068	151,844,000		
活動指標	集団接種延人数（二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎1期）	目標	人	4,500	4,500	4,500	
		実績	人	3,995	3,720		
		達成率	%	88.78	82.67	-	-
	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、B型肝炎）	目標	人	8,000	8,000	8,000	
		実績	人	6,797	6,583		
		達成率	%	84.96	82.29	-	-
B類予防接種延人数（インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌）	目標	人	9,500	9,500	9,500		
	実績	人	10,248	10,174			
	達成率	%	107.87	107.09	-	-	
成果指標	0歳～18歳まで予防接種率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	85	82		
		達成率	%	85.00	82.40	-	-
	高齢者インフルエンザ予防接種率	目標	%	60	60	60	
		実績	%	52	44		
		達成率	%	86.83	72.67	-	-
備考							

事務事業名	各種予防接種事業	事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	連絡先	330	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果）	目標値を現実と合った数値に変更。集団接種は、学校での実施なども含み、多くの接種ができていますが、日本脳炎の2期(高校3年)は、接種率が低い。高齢者については、目標は達成できていないが、多くの人が接種できている。	コロナの影響も多少あったが、予防接種全体の接種率が少し落ちた。高齢者についても落ちているので、予防接種の必要性を周知していくことが大事。			
価値	成果	保育園への手紙や、未受診通知、乳幼児健診での確認と勧奨などで、接種を忘れていた人への勧奨ができ、良かった。	保育園を通じての周知や未受診者への通知、乳幼児健診での接種勧奨はできた。2020年度から四種混合、学校での予防接種(二種混合、日本脳炎)は、集団接種から個別接種にすることができた。			
	課題	高校生への受診勧奨を早めに行いたい。学校予防接種を安全に実施するための方向を検討。次年度開始の風しん抗体検査と予防接種の準備。四種混合が集団接種のため、接種が遅れる。	コロナウイルス感染症による接種を控えることがないように周知していくことが必要。集団接種のものは、密にならないような実施をしていくことが必要。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	成果	・高校生への接種勧奨を年内に通知(秋頃)したい。(ワクチンの供給状態をみながら) ・風しんの抗体検査の周知をし、蔓延しないよう、予防していきたい。 ・四種混合を集団接種から医療機関でできるようにしたい。毎年、百日咳の流行があり、中には命を落とす児もいる。ほとんどの自治体では、医療機関で実施しており、ヒブ、肺炎球菌と同時接種しているが、茅野市は月2回の集団接種に来なければならぬため、接種が遅れる児が多い。百日咳で重症化しないよう、乳児の健康を守りたい。 ・学校での集団接種の安全性について引き続き検討していく。	・コロナウイルス感染症で、集団接種から個別接種への移行が推奨されている。すべての予防接種を個別接種にしてしまうと、パンデミックで医療機関が麻痺した際に対応できなくなるため、集団接種を実施しながら、個別接種への移行を検討していく必要がある。			
	内容					
作成担当者		白鳥 晴美	白鳥 晴美			
最終評価責任者		柳澤 澄子	斉藤 明美			
最終評価年月日		2019年5月17日	2020年7月3日			